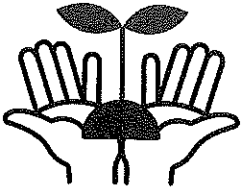


【JA岡山東自己改革取組宣言】



これまでも、これからも、地域とともに
JA岡山東は「総合事業」を展開します

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんと話し合い（対話）を深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

**協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、
みんなの願いをかなえていく組織です。**

- ▷ JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。
- ▷ 農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- ▷ 農業者以外の方でも、JA各事業をご利用いただいている方を、JAの応援団として准組合員として加入いただいております。
- ▷ 信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。
- ▷ いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

**総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」
に向けたJAの主な取り組みを紹介します。**

1. 生産技術やブランド力を活かした生産・販売

モモ新品種の導入や里海米、ブランド果実、野菜の広域5品目の推進などにより、JA岡山東ならではの産地づくりと販路拡大に取り組みます。

2. くらしに関する相談機能の充実

「くらしの相談室運動」による対話や「ライフイベント応援コーナー」等で組合員のニーズを把握し、個々のライフプランに応じた商品やサービスを提案します。

3. 農業経営の改善支援の強化

「JA岡山東青色申告会」と連携し、経営分析勉強会や税務申告相談会の開催、農業簿記の記帳代行入力により、農業者の税務・経理技術の向上と農業経営の改善合理化を支援します。